

平成29年8月1日 招集

北九州市西部農業委員会合同初総会（第2回総会）議事録

1 会議の日時

平成29年8月1日 15時00分から

平成29年8月1日 16時45分まで

2 会議の場所

北九州ハイツ 2階 「高砂の間」

3 会議の出席委員（22名）

◆農業委員（14名）

1番 倉成 保彦 3番 大庭 喜重 4番 久野 善隆 6番 木原 幹雄

8番 山田 泉 9番 田中 義一 11番 久保田 晴彦 12番 福田 甚裕

13番 梅崎 正和 14番 深町 秀 15番 松尾 喜平次 16番 松岡 勝信

18番 栗山 重隆 19番 吉武 淳一

◆農地利用最適化推進委員（8名）

2番 浦邊 愛二 5番 平山 吉昭 7番 小田 建治 10番 秋山 誠

17番 安田 和彦 20番 松浦 正伸 21番 宮野 誠司 22番 本田 春夫

4 会議の欠席委員（0名）

5 会議の出席職員

事務局長 森元 義男 次 長 石丸 校寛 農地担当係長 島崎 尚
主 査 笹原 透 主 任 三原 晴樹

6 会議の議案

(1) 農地法関係

なし

(2) 一般議案関係

議案第3号 運営委員会委員の選任について

議案第4号 調査委員会の設置について

議案第5号 調査委員会委員の選任について

議案第6号 平成30年度予算要望について

(3) 連絡事項

- ・各委員の担当地区について
- ・総会開催日程及び現地調査日程（巡回）について
- ・みずほ会について
- ・全国農業新聞の購読について
- ・農業委員・農地利用最適化推進委員研修について
- ・帰りのマイクロバスの配車について

7 議事 会長（久野 善隆）が議長となり開会を宣言 15時00分

<p>事務局長</p>	<p>それでは皆さま、お待たせいたしました。ご案内しておりました定刻の15時となりましたので、ただ今から北九州市西部農業委員会、農業委員、農地利用最適化推進委員の合同初総会を開催したいと思います。</p> <p>私は、西部農業委員会事務局長の森元と申します。本日の司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願います。</p> <p>それでは恐れ入ります、久野会長、まず会議の開会についてお願いしたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>皆さん、こんにちは。先月7月20日に開催されました初総会におきまして、西部農業委員会会長に就任いたしました久野でございます。新農業委員の任命後、市長の招集により開催されました初総会では、農地利用最適化推進委員の委嘱が議決をされました。これにより農業委員14名、農地利用最適化委員8名、計22名からなる新西部農業委員会の全容が確定したところでございます。本日は農業委員と農地利用最適化推進委員が共に出席する初めての合同総会でございます。委員、また来賓の皆様におかれましては、大変ご多忙の中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>それでは出席委員の確認をいたします。出席委員は農業委員14名、農地利用最適化推進委員8名で合計22名でございます。全員の出席でございます。欠席の委員はございません。定足数に達しているため、ただ今より会議を始めさせていただきます。</p>
<p>事務局長</p>	<p>はい、有り難うございます。では、引き続き久野会長、議事録署名人の指名もあわせてお願いいただければと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>はい、以降については着席をもって進行をさせていただきます。次に総会議事録の署名委員の指名をいたします。今回の署名委員は6番の木原委員、8番の山田委員にお願いをいたします。</p>

<p>事務局長</p>	<p>はい。それでは早速ではございますが、農地利用最適化推進委員の委嘱状の交付に移らせていただきたいと思います。それでは、久野会長、恐れ入りますが、前の方にお進みいただきたいと思います。</p> <p>農地利用最適化推進委員の皆様につきましては、若松第1区から担当区域順に委嘱状を交付いたします。お名前を今から読みあげますので、お1人ずつ前方にお進みいただいて委嘱状を受け取っていただくようお願いしたいと思います。また、委嘱状を受け取られましたら、元の席にご着席いただければ助かります。</p>
	<p>(久野会長、委嘱状交付)</p>
<p>事務局長</p>	<p>有り難うございました。以上をもちまして委嘱状の交付を終了したいと思います。引き続きまして、ここで久野会長から、ひと言ご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>皆さん、こんにちは。先の7月20日に行われました第1回西部農業委員会総会の議決により、会長に就任いたしました久野でございます。本日、農業委員、農地利用最適化推進委員合同の初総会の開催にあたり、ひと言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、松元北九州市副市長、梶原福岡県八幡農林事務所長、香月北九州農業協同組合代表理事組合長はじめ、多くのご来賓の御臨席賜りまこと有り難うございます。皆様ご存知のよう、本日の総会には国の法改正による新農業委員会の発足であります。これは平成24年12月末の衆議院解散総選挙により、政権が3年半ぶりに民主党政権に戻り、約1年後の平成26年に規制改革会議が立ち上げられ、農業ワーキンググループによる農協、農業委員会、農業生産法人の三法改正案の審議に入り、農地バングの立ち上げに始まりまして、平成27年度には国会審議決議により法案化され、これに伴い北九州市東西農業委員会は、東西正副会長で農林水産部、経済局理事、市議会正副議長、北九州市長と協議、勉強会等々を幾度となく行い、農業委員数、最適化推進委員数の合意に達し、前西部農業委員会、総会で、その都度</p>

報告、協議、決定をいたしました。

今回の新農業委員、最適化推進委員は広く公募もいたしましたが、地元農家の地域代表が集う農事組合にJA北九様の協力もいただき、認定農業者、地域の担い手など地域のリーダーの推薦がいただけました。当西部農業委員会では、前期の農業委員会では市議会、JA、共済推薦委員と地区代表の選挙委員の計26名で運営を行ってまいりました。今回、農業委員14名、推進委員8名の計22名で運営をすることとなり、国の示す職務内容を、法の趣旨、規定を尊重する中で、農業委員、推進委員が同等の立場で地域分担をし、毎月の総会も同様に出席して意見を述べていただき、地域の代表として同等の立場で活動していただくよう改めてお願いをいたします。いずれにしても北九州市の農業の発展、若手農業者の育成、北九州市民の食の安全と安心のため、また我々農業委員会の本分である優良農地を守るための許認可業務に対し、農業委員会一丸となって業務に取り組みます。ここにご来賓の皆様方のご指導とご協力をお願いいたしまして、本日の会長の挨拶といたします。どうぞよろしくお願いたします。

事務局長

会長、どうも有り難うございました。続きまして、本日大変お忙しい中お越しいただいております来賓の皆様方、僭越ですが私のほうからご紹介させていただきたいと思っております。

北九州市副市長、松元照仁様でございます。

福岡県八幡農林事務所所長、梶原秀康様でございます。

北九州農業協同組合代表理事組合長、香月保様でございます。

若松区区次長、栗原健治様でございます。

八幡東区長、高松浩文様でございます。

八幡西区長、池上修様でございます。

産業経済局企業立地・食ブランド推進担当理事、富高紳夫様でございます。

産業経済局農林水産部長、二宮剛様でございます。

それでは、来賓の皆様を代表いたしまして、お三方からご祝辞をいただきたいと思います。

	<p>(来賓祝辞)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市副市長、松元照仁様 ・福岡県八幡農林事務所所長、梶原秀康様 ・北九州農業協同組合代表理事組合長、香月保様
事務局長	<p>続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思います。委員の皆様の紹介につきましては、西部農業委員会の慣例によりまして、議席番号順に自己紹介という形でお願いしたいと思います。</p>
	<p>(議席番号1番の委員から、その場に立って自己紹介)</p>
事務局長	<p>農業委員、推進委員の皆様、本当に有り難うございました。</p> <p>ここで、松元副市長を始め、ご来賓の皆様方にはご公務が控えておりますので、この場でご退席いただきたいと思います。ご来賓の皆様、本日は本当にどうも有り難うございました。</p>
	<p>(来賓退席)</p>
事務局長	<p>続きまして、我々西部農業委員会事務局の職員を紹介したいと思います。</p>
	<p>(西部農業委員会事務局職員紹介)</p>
事務局長	<p>それでは、ここから議事に入っていきたいと思います。恐れ入りますが、会長、副会</p>

	長におかれましては、席の移動をお願いしたいと思います。
	(会長、副会長、席を移動)
議長	それでは、議案第3号、運営委員会委員の選任について、事務局の説明をお願いします。
事務局長	<p>まず、最初の議案、運営委員会委員の選任でございます。この運営委員会という組織でございますが、総会への提案ですとか緊急に協議すべき事項があるときに招集されるもので、その根拠は西部農業委員会運営要綱で定められております。</p> <p>この構成でございますが、運営委員会の構成委員は会長、副会長のほか、総会において推薦された者を含む8人以内というふうに定めております。そしてその運営委員会の委員長は、会長がその任に当たることになっております。お手許の資料、議案書の2頁をご覧くださいただければと思います。既に先の初総会で会長、副会長につきましては決まっておりますので、この3人以外に、あと5人の推薦を本日お願いするものでございます。この運営委員については、西部地区もかなり広いものでございますので、各地区地域からの意見を集約することを担保するために、この資料の2頁では農協の地区ごとの人数案についてお示ししております。</p> <p>また、この資料では、案という形ではございますが、この委員会を運営していくにあたりまして、利害関係を有しない、中立である方の意見が欠かせないであろうということで、予め山田委員のお名前を入れさせていただいておりますことを、あわせてご報告したいと思います。</p> <p>この運営委員の推薦を受ける委員さんですが、農業委員と農地利用最適化委員さん、いずれでもかまいません。どちらの委員さんも運営委員に就任することが出来ることとなっておりますことを、ご報告したいと思います。</p> <p>運営委員の推薦の方法ですが、特に国から定められているものではございません。先</p>

	<p>日 7 月 2 0 日、農 業 委 員 の み の 初 総 会 の 場 に お い て 会 長、副 会 長 を 互 選 し た と き に は、2 つ の や り 方、単 記 無 記 名 投 票、指 名 推 薦 と い う や り 方 が あ っ た の で す が、選 考 委 員 会 を 設 け た 上 で、選 考 委 員 に よ る 指 名 推 薦 と い う 形 で 互 選 が 行 わ れ た こ と を、あ わ せ て ご 報 告 さ せ て い た だ き ま し て、こ の 議 案 審 議 に 入 っ て い た だ け れ ば と 思 い ま す。事 務 局 の 説 明 は 以 上 で ご ざ い ま す。</p>
議 長	<p>はい。事務局の説明が終わりました。運営委員の選任につきましては、これまでは会長、副会長の互選と同時に、選考委員会による検討をお願いしておりましたが、今回は会長、副会長の互選と運営委員会委員の選任が別の日程になっていきます。会議を円滑に進める上で、もし異議がなければ、今回も選考委員会による推薦の方法としたいと思っております。前回は会長、副会長の選考でありましたけれど、今回は運営委員の選考であります。よって、前回の選考委員の方の中で運営委員さんになられるという方は、選考委員をその地区は替わっていただきたいと思っております。選考委員が運営委員の推薦者本人にはなれませんので、そういうところで何か変更があればお知らせ願いたいと思っております。</p>
議 長	<p>以前の通り、そのままでよろしいですか。替わられる地区については、ご報告をお願いいたします。</p>
1 5 番 松尾委員	<p>若松地区は、田中委員と松浦委員にお願いしたいと思っております。</p>
議 長	<p>松尾委員が松浦委員に交代するのですね。</p>
1 2 番 福田委員	<p>八幡地区は、深町委員の代わりに私、福田が出たいと思っております。</p>
議 長	<p>深町委員から福田委員に替わるのですね。香月地区は松岡委員、木屋瀬は吉武委員で</p>

	よろしいですか。
	(異議なし)
議長	それでは選考委員について、若松区では松尾委員が松浦委員に交代し、田中委員はそのまま、八幡地区は深町委員が福田委員に交代、香月地区は松岡委員、木屋瀬地区は吉武委員ということで、運営委員会の選考委員の変更の発表をいたします。それとともに、改めて申し上げますが、選考委員による指名推薦の方法ということで、皆さんご異議はないでしょうか。よろしいですか。
	(異議なし)
議長	はい。それでは異議なしということで、選考委員による指名推薦の方法としたいと思います。
事務局長	では、選考委員会という形式で引き続き運営委員さんを選ぶということで、選考委員会の場所でございますが、別の部屋を準備しております。受付場所の近くにありますが、嵐山の間という部屋を確保しておりますので、選考委員の皆様におかれましては、嵐山の間への移動をお願いしたいと思います。
議長	それでは、前回もそうでしたのであまり時間はかからないと思いますが、一応10分以内ということでお願いしたいと思います。選考委員さんは嵐山の間で選考委員会を開いていただきたいと思います。他の委員さんについては、10分間の休憩をお願いいたします。
	・ ・ ・ ・ ・ 休 憩 ・ ・ ・ ・ ・

事務局長	<p>はい、それでは、選考委員会が終わったようですので、ただ今から議事の再開をお願いしたいと思います。</p> <p>僭越ですが、選考の結果につきましては、選考委員長を務められました福田委員のほうから、選出の結果についてご報告いただければと思います。</p>
12番 福田委員	<p>ただいま行われました、運営委員の選考結果について発表させていただきたいと思います。</p> <p>若松地区、大庭喜重委員、梅崎正和委員、松尾喜平次委員、 八幡地区、深町秀委員、 香月地区、久野善隆委員、倉成保彦委員、 木屋瀬地区、木原幹雄委員、 利害関係を有しない山田泉委員、</p> <p>以上でございます。</p>
議長	<p>はい、選考委員長から報告がありましたように、若松区地区からは大庭副会長が兼務、そのほかに梅崎委員、松尾委員。大蔵、八幡、折尾地区からは深町委員。香月については会長の私と副会長の倉成委員が兼務するようになっております。木屋瀬につきましては木原委員。中立の立場からは、先ほど事務局から説明がありました山田委員ということで、運営委員の推薦について報告をされました。</p> <p>新しく推薦された5名と、会長、副会長を合わせた8名で運営委員会を運営していくこととなります。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>これについては皆さんの同意を求めなければなりません。ただいま申し上げた会長、副会長のほか、推薦をいただいた5名を総会で定めた運営委員としたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>

	(異議なし)
議長	それでは、異議なしということで、運営委員として決定いたします。
議長	続きまして議案第4号、調査委員会の設置について、事務局の説明をお願いいたします。
事務局長	<p>議案第4号の調査委員会の設置についてご説明したいと思います。これまでも、西部農業委員会においては調査委員会制度を取ってきたわけですが、簡単に調査委員会について申し上げますと、総会に諮る事案について、事前に詳細に調査、検討を行うという位置付けの会議の場になっております。</p> <p>その設置根拠につきましては農業委員会規則、運営要綱で定められているわけですが、新しい西部農業委員会では、ルール上、調査委員会の数は2つ以内を設置することになっております。名前につきましては、第1調査委員会、第2調査委員会といたしまして、その役割でございますが、第1調査委員会については農政一般を担当し、農業振興、農政に関する意見の公表ですとか、市に対する要望、建議を行うものでございます。第2調査委員会につきましては、農用地のあるせん、農用地の利用調整、賃借料情報の提供や農地利用の最適化など、農地に係わるものを専ら担当するというふうに大きく分けております。ただ、実務上の運営は、第1、第2、ここはあまり区別を設けずに、これまでの西部農業委員会では運営をしておりました。規定上では、第1、第2ではそのような違いがございます。</p> <p>また、順番を設けまして、先ほど申しましたように、総会開催日に第1、第2の順番で農地法関係の事案の事前審査を担当することとなります。事前審査につきましては、毎月1日に若松地区、2日に八幡地区の現地調査、申請が上がってきました農地法に関する事案につきましては、1日、2日、この2日間で事前の現地調査行っております。その事前調査には、担当する調査委員会の委員さんのうち各2名ずつの立ち会</p>

	<p>いをお願いしているところでございます。この詳細につきましては、後ほど連絡事項のほうで少し詳しくご説明をさせていただきたいと思いますが、この第4号議案につきましては、そのような調査委員会というものを西部農業委員会の中に置くということを、この場でご議論いただき、ご議決いただければと思います。事務局の説明は以上でございます。</p>
議長	<p>事務局から調査委員会の概略の説明がありました。これについて何か意見がありましたら、伺いたいと思います。</p>
	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>これについては、前期の運営委員会の皆さんに検討していただいた内容を踏まえ、事務局から案として、各地域のバランスを見ながら、第1、第2調査委員会ということで人員案を配っていただいております。今回、農地利用最適化推進委員さんをまず8地区ということでバランスよく配置して、それから農業委員さんの配置ということで、各地区バランスよく配置されているということで聞いております。</p> <p>そういうことで補足説明ですが、まず、この第1、第2調査委員会を設置するということについて、異議はないでしょうか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
議長	<p>はい。では異議なしということで、第1、第2調査委員会を設置することといたします。</p>
議長	<p>次に、議案第5号、調査委員会委員の選任について、事務局の説明をお願いいたします。</p>

	す。
事務局長	<p>では、引き続き、第5号の説明に移らせていただきます。いま議案第4号で、調査委員会を2つ置くということを決めさせていただきます。では、農業委員さん、推進委員さんの皆様方が、第1調査委員会、第2調査委員会、どちらに属するか、その選任につきましては、会長が指名するというふうなことを考えてお名前を振りまいて、私も事務局で、地区のバランス等を考慮して名簿を作りましたので、今からそれを配らせていただきます。</p>
	(事務局、別紙資料を配布)
島崎係長	<p>いま名簿をお配りいたしました。そちらを閲覧いただきたく思います。調査委員会は第1と第2の2つということですので、実際の活動としましては隔月で活動していただくこととなります。構成委員につきましては、各地区において農業に携わっている方らに農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆さんを、等分に配分するようなかたちで構成しております。</p> <p>活動の内容につきましてですが、具体的には許可の申請など、事由が出た場合に現地調査が必要となりますので、その際に現地調査を行っていただき、調査委員会の会議といたしましては、毎月10日前後に総会がございまして、その総会の議案審議の際に、調査委員会の会議結果を報告していただいております。現地に実際に行くと、八幡地区の委員お1人の委員と現地を担いでいる委員の方、それから事務局の職員が一緒に行きます。ペアを組んで調査結果の報告をさせていただきます。ペアを組んで調査結果の報告をさせていただきます。ペアを組んで調査結果の報告をさせていただきます。</p>

	<p>名簿につきましては、見ていただければ各地区ごとに割り振っているというのをご理解いただけたと思います。また、調査長につきましては、それぞれの副会長に調査長をお願いすることとしております。それが事務局の案でございます。以上でございます。</p>
議 長	<p>はい、事務局からの調査委員会の名簿についての説明が終わりました。これについて、内容を見られて何か異議があればお受けしたいと思います。</p>
17番 安田委員	<p>訂正をお願いしたいと思います。八幡第2区と第3区についてですね。私、安田は第3区の担当でございます。この案では香月の第2区となっております。2区と3区が入れ違っているのではないかと思いますので、その訂正をお願いしたいと思います。</p>
島崎係長	<p>申し訳ございません。後の連絡事項の中でも出てくるのですが、第2区と第3区、香月地区と木屋瀬地区の番号をミスプリントしておりました。これにつきましては修正させていただいて、完成品につきましては、本日は案ということもございますので、次回の10日の定期総会の時に、お配りさせていただこうかと思っております。これでよろしいでしょうか。</p>
議 長	<p>はい。その件については訂正を行い、今月10日には資料を再度配布していただくこととします。よろしいですか。</p>
17番 安田委員	<p>はい。</p>
議 長	<p>他に何かありましたら、お受けしたいと思います。</p>
議 長	<p>よろしいでしょうか。</p>

	(異議なし)
議長	はい、それでは名簿については異議なしということで、承認することといたします。
議長	引き続き議案第6号、平成30年度予算要望について、事務局の説明をお願いします。
事務局長	<p>では、引き続きまして、議案第6号の平成30年度予算要望、北九州市長に対する要望書について、私から説明させていただきたいと思っております。お手許の資料、議案書の6頁からとなっております。</p> <p>そもそもこの要望ですが、毎年、北九州市長に対して翌年度の予算等への反映を目的として、西部農業委員会から市の執行部に対して行っているものでございます。ただ単に予算的なものに留まらず、やはり地域目線、現場目線で地域の農業や振興に関する意見、そして消費者の皆さんへの安全な食料の供給などについて、農業者の代表である我々農業委員会としての意見を踏まえたものでございまして、農業委員会として意見発信を大変重要な機会となっております。その内容については、7頁以降にいろんな項目が書かれております。1つ1つを全て説明しますと大変時間もかかりますので、代表的なところを2点ほどご説明させていただきます。9頁の一番上、市との信頼関係の醸成というところを、まずご説明したいと思います。</p> <p>本日、このような形で農業委員、推進委員の皆様とあわせまして、新体制の西部農業委員会となったわけですが、現場の農業の問題に取り組んでいく中で、行政との関係というものが今まで以上に重要でございます。その行政の窓口であります北九州市との間で、新しい顔触れになったこともございますので、信頼関係を築いていくために、昨年度までは年に1度この要望書を出すということが専らの流れになっていたのですが、ただ単に要望を出す、それを受けるということだけではなくて、もっと頻りに、この要望についての定期的な意見交換の場を設けていって、例えば、新しい西部農業委員会が今日スタートしたわけですが、様々な問題がこれから発生するでありましょうし、この予算要望に対する市の本当の考え方ですか、どうするのかという</p>

その結果について、そういったことを会長、副会長中心となりませんが、市の農林水産部の幹部の職員の方々と、例えば年に4回くらい、しっかりと意見交換を行ってほしいか、そういう場を作るときには、一番最初に要望事項として持ってきただけでなく、いろいろな内容になっておきます。

これは全体的な一ルに關する点だけに、紹介のし、国や、感じと、す、さ、ン、か、運、の、う、ら、の、要、い、中、そ、の、部、農、お、示、し、て、い、る、も、の、は、申、し、送、り、引、き、継、ぎ、を、受、け、た、も、の、で、ご、ざ、い、ま、す。この要望書を作りました。ただ、この要望書を作るにあたりまして、前の西の部農業委員会の体制の方々に叩いて来ていただいたものでございます。本日皆様方にお示ししているものは、申し送り、引き継ぎを受けたものでございます。今までの農

	<p>業委員会では、例えば、頻繁に会長、副会長会議を開いたりですとか、先ほど話題に出ました運営委員会などでも議論して参ったところでは、今年6月、7月の総会の際において、最終的に、前のメンバーの農業委員会でこれかどうかと決めたいものを、本日ご紹介させていただいておきます。もし、こういう内容で差し支えなければ、この形で市に対して要望等を行っていきたいと考えております。事務局からの説明は以上でございます。</p>
<p>議長</p>	<p>はい、これにつきましては、毎期、新しい農業委員会に改選する場合、7月中旬に任期が始まりますので、時間がないわけですね。市に対する予算要望を農林水産部を通してやる、その後、正副議長への説明、それから北九州市長との意見交換会、そういったものをするわけですが、その前に、要望書を作らないといけないので、年明け早々から議論していかないと内容が煮詰まらないということ、前の農業委員会である程度叩き台を作って、皆さん方にお示しして了解をいただくと、いうふうな形でやっています。また皆さん方からやっていたら、来年からということになります。予算要望の現実的な形はそういうことになり、31年度、32年度、そして33年度向けの申し送りを行います。結局は3回やるということですね。</p> <p>これについて、何か気が付いたことがあれば、申し出ていただければ、要望書に採り入れていきたいと思っております。この件について、皆さん方のご承認をいただきたいと思っておりますが、何か質問があればお受けしたいと思います。</p>
	<p>(異議なし)</p>

議 長	<p>事務局から説明がありましたけれども、新規就農については、皆さん方ご存知のように年間150万です。5年間と研修期間が2年間プラスで7年間、合わせると1千100万円を超えるような金額になっています。新規就農で基盤もなければ農業経験もない方も、そういう方にそれだけの待遇を投じて果たして何人が定着するのか、それであれば現農家の子弟、そういったものにももう少し力を入れられないのか、そちらであれば親が農業経験者であり、農機具も揃っている、田圃や農地もある、そういったところで、確実に定着する可能性がかなり高いわけです。</p> <p>以前は20から30くらいの項目があったのですが、こんなにいっぱい書いても市のほうも分からないだろうというところで集約化し、国とか県とか、そういったところが声を大にしてやっているところは当然こちらも言わないといけないわけですが、羅列して挙げる程度とし、実際に今年は今これとこれをやってもらわないといけないところを重点的に挙げていこうという方針です。今度の要望に関して絞っておきます。ただ、まだまだ絞ったほうが良いのかなという感じですが、年々絞って来ているのですが、まだ絞って良いのではないかという気がします。こういったところで、皆さん方と要望の関係について意見集約をして、重点的に、今年は絶対市にこれはやってもらうんだ、というようなものにしていきたいと考えております。</p> <p>そういったところで相談しながら、前期の最後の総会で、皆さん方に申し送りを集約したばかりです。そういうことでもあります。</p> <p>これについて、そういったところでよろしいでしょうか。</p>
	(異議なし)
議 長	それでは異議なしということで、議案第6号については、承認をすることに決定をしたいと思っておりますがよろしいですか。

	(異議なし)
議長	それでは、議案第6号については承認することに決定し、この内容、手順で提案をしていきたいと思えます。
議長	これをもちまして、すべての議案の審議が終了いたしました。引き続き、連絡事項について事務局の説明をお願いします。
島崎係長	<p>では、お手許の資料に西部農業委員会担当地区分けという書類があると思えます。縦長の表になっております。</p> <p>まず、お詫び申し上げないといけないのは、先ほどもご指摘いただきました八幡地区の第2区、第3区の番号、こちらが誤っております。これにつきましては、後日、次の総会の時にきちんとしたものをお配りしたいと思っております。担当地区割につきましては、毎回農業委員会で引き継いで来た担当地区割を基にいたしまして、各地区、これは農事組合を単位にいたしまして、少々修正を加えたものです。地名だけでは分かり難いかとも思いましたので、手書きですが大雑把な地図を後ろに付けております。地区的には、よく許可申請の出てくるところ、またほとんど動きのないところがございます。そういうものの集大成が、今までの担当地区割であったというふうに捉えておりますので、なるべく修正の少ないような形で付けております。担当地区割につきましてはのご説明は以上でございます。</p> <p>次に、総会開催日の日程と現地調査の日程について、少し説明させていただきたいと思えます。先ほどお配りしております調査委員会の名簿の2枚目に、開催日程の表を付けております。1年間の予定ですので、その時々状況によって日程が多少変わることとも考えられますが、一応今の時点ではこの日程で月に1回総会及び調査会を行うという形で考えております。それから調査会に伴います現地調査が下の表でございますが、まず明日、早速若松地区の現地調査が1件入っておりますので、関係する方々には事前にご連絡をさせていただいております。明日の午後、よろしくお願ひしたい</p>

	<p>と思います。</p> <p>それから8月3日、八幡地区で予定をしておりますが、こちらにつきましては許可申請、その他の事案が出ておりませんので、中止ということになります。以降、9月、10月とずっと続いておりますが、現地調査につきましては、事案が無く、中止になったからといって、次の月に移動していくことはしておりません。無ければ無いで終わりで、この表に従って、事案が出た時にご連絡させていただくという形を取っております。</p> <p>明日の現地調査、次は8月10日に総会を予定しております。総会の前に調査委員会を行いますので、調査委員会が今のところ予定では2時から、総会が2時半からとなっております。議案等につきましては、後日、郵便等でご連絡させていただきますので、この場では口頭でお知らせということにさせていただきます。自分からは以上でございます。</p>
石丸次長	<p>続きまして、私からみずほ会について説明させていただきます。まず、お手許の資料をご覧ください。西部農業委員会では委員の皆様方の親睦を図ることを目的に、みずほ会を設置しております。会員は西部農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の身分を有する方ということになっております。農業委員会規則の変更に伴います、みずほ会の規約の変更の案が、ご覧いただいております赤い文字が入った資料でございます。赤字の部分をご覧ください。第1条で、農業委員及び農地利用最適化推進委員をもって構成し、目的を会員相互の親睦を図ることとしております。第2条で会費として100分の16を納めるということにしております。規約の案につきましては、簡単ですが以上でございます。</p> <p>なお、報酬につきましては毎月20日、指定の口座に振込みをさせていただくことにしております。</p>
事務局長	<p>その件について、皆様方の報酬と、そこから親睦会という形でいただく費用の事でございますので、もう少し詳しく説明させていただきますと、今までの西部農業委員会では、この懇親会費用として報酬の100分の6、委員の皆さんは基本は月額報酬5</p>

万円ですから、6%の3千円を親睦会費としていただいております。会長、副会長は若干その5万円の上乗せがありますので若干高い金額になるのですが、基本、5万円の6%、3千円と考えていただきたいと思います。

これとは別個に、5千円の旅行積み立てというものをこれまでの農業委員会ではいただいております、合わせて8千円、5万円の報酬の中から合わせて8千円の旅行会費と親睦会費というものを集めさせていただいております。この旅行については3年に1度、最終年を迎える年くらいに、海外も含めて、今年は北海道だったのですが、これまでは海外も含めて、親睦を深めるために行かれていらっしゃいました。

これについては、3千円を集めている通帳と旅行の5千円の通帳と2つの通帳を管理してまいりましたし、途中で若干の入れ替わりとかがあれば、それぞれでお金の出し入れをしたりと、事務的にも少し煩雑でもございました。何よりも各委員さんの意見の中で、例えば親睦会に参加する人、しない人が出てきますし、また、それが旅行となるのと、毎月5千円で年間6万円、3年で18万円と、行った行かないでかなりの金額の差も出ましたし、行ったほうが良いのか行かなかったほうが良いのか、変な不公平感というものが出て参りまして、それであれば、今度新しい体制に移行しますので、懇親会の費用も旅行の費用も一緒にして、3年後、その不公平感を解消するために、懇親会に参加するしない、旅行に行く行かないは別として、3年後に最後に残ったお金を、その時の人数で清算したらどうだろうかとなりました。そうすることでシンプルに、今回、引き続き親睦会を作るのであれば、シンプルな形が良いのではなからうかという話を前の体制の時から検討してまいりました関係で、今日、皆様方にお示しさせてもらった案では、規約の中に親睦とは別に旅行もその1つとして書き加えさせてもらいましたし、費用についても2本立てていたものを、率で直すと3千円と5千円、8千円ですから100分の16になるのですが、そういった形で規約を見直したらいかがでしょうかというこのことでの提案でございます。

これについては、初めて聞かれる方もたくさんおられると思いますし、ましてや金額も5万円のうちの8千円、ちょっと大きい金額になりますので、そこのところはご議論をいただいて、ご納得いただければと思います。これについては、時間をかけてご議論いただいたほうが良いのではないかと思います。

<p>議 長</p>	<p>事務局から説明がありました。1番最初の各委員の担当地区について、私は、香月のことは特に問題ないというところは分かるのですが、他の地区について、例えば、若松地区も以前は8名だったものが今回は10名になっていきますから、以前担当地区を1人で見ていたところが2人で見るようになっていくところとか、振り分けがちょっと変わっていると思えます。事務局もなるべく近い所とということとで振り分けたいところですが、自分自身の担当地区が、どうしてもここをやってほしいところがあったら、変更も出来ますので、いま現在見て直ぐ気が付いたところがあればお知らせ願いたいと思えます。何かありますか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
<p>議 長</p>	<p>なければ、一度、担当地区はこれで良いかということで見積り見ていただいて、また後日、何か異議があれば事務局に申し出ていただきたいと思います。</p> <p>それから、これも事務局から説明がありましたが、みずほ会の規約の改正、これは以前、農協推薦とか共済推薦、市議会議員の議会推薦の方がおられましたので、途中で退任される方もおられました。そういうところで、一律にというわけにもいかななかったためにこういう形で来ていたのですが、せつかく親睦会で積み立てているのに参加者が少ないということ、出来るだけ避けたいということ、皆さんに平等に合算して払っていただいて、行かれる方、行かれない方は、例えば、最後のお別れ旅行で行かれない方は損をする、行かれる方は得するということが多少ありますし、全体的に余ったものを皆さんに還元しますので、大きな金額にはならないと思えます。そういうところで、出来るだけ皆さんに不公平がないように、出来たら全員参加というふうなことでやっているいただきたいと思えます。今までの経験上、ずっと参加人数は少なくなってきたという現状がありましたので、事務局とも協議、相談して、こういう形にしました。</p> <p>そういうことで、他の件を含めて6項目設けておりますが、何かこの中で異議、質問等があればお受けしたいと思います。</p>

	(異議なし)
	それでは、いま説明したような内容で異議なしということによろしいですか。
	(異議なし)
議長	それでは、皆さん方にご了解いただいたということで、そういうふうな形で進めさせていたいただきたいと思います。
事務局長	はい。あともう何点か報告事項がございますので、引き続き説明させていただきます。まずは新聞から。
石丸次長	引き続きまして、全国農業新聞の購読についてでございます。既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、会員の皆様にご購読をお願いしております。ご自宅へ郵送させていただいております。購読料につきましては、みずほ会から支払わせていただきます。よろしく申し上げます。
事務局長	月額700円でございます。週に1回の新聞でございます。これについては、農業委員会はほぼ必須ということで取っておりますので、よろしく申し上げます。
石丸次長	私からは最後ですが、研修会がございます。農業委員、農地利用最適化推進委員初任者研修の開催について、という文書でございます。8月30日、黄色でマーカーしたところがございますけれども、宗像ユリックスホールで新農業委員、農地利用最適化推進委員の皆様方を対象とした研修会が開催されます。当日は貸切バスをチャーターして、会場に向かうこととしております。当日の詳しい予定につきましては、後日の会議でお知らせさせていただきますので、よろしく申し上げます。私からは以上でござ

	<p>ございます。</p>
<p>議 長</p>	<p>他に、事務局からはよろしいですか。</p>
<p>事務局長</p>	<p>はい。この後開催される懇親会について、少し早くならないか訊きに行かせました。ロビー等で休憩いただければ、開始時間をどうするかお伝えしたいしたいと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>はい。それでは懇親会開始までの間、ロビー等で休憩して待っていただきたいと思います。これを持ちまして、北九州市西部農業委員会農業委員、農地利用最適化推進委員合同初総会を閉会いたします。長時間大変ありがとうございました。</p>